



黒毛和種牛のための省力的過剰排卵処理技術



詳しい内容はコチラ

(成果の概要)

黒毛和種牛から多くの受精卵を得るための省力的過剰排卵処理方法を開発

期待される効果

- ・投薬作業の労力が軽減される
- ・供卵牛のストレスが低減される



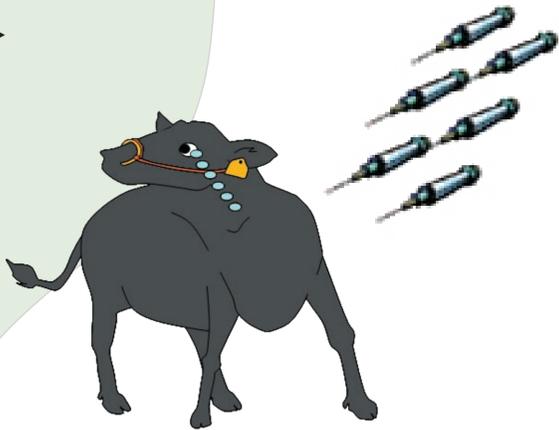
牛の卵

開発の背景

これまでの技術では・・・

- ・過剰排卵を誘起するために卵胞刺激ホルモン (FSH:20AU) を朝夕2回、3日間連続投与
- ・投薬作業が繁雑で労力負担が大きい
- ・供卵牛のストレスが大きい

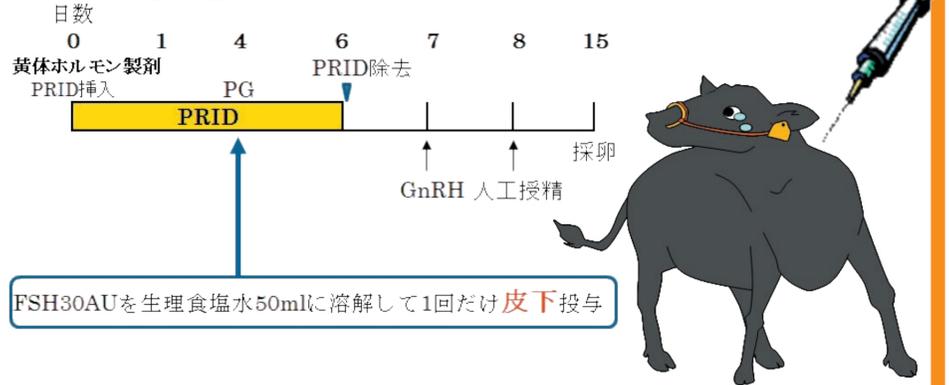
<従来法>



新技術では・・・

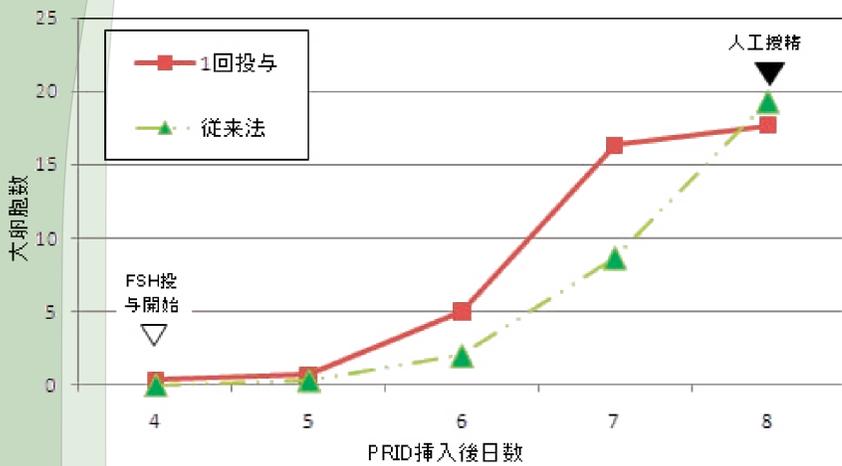
- ・FSHの投与を1回に削減
50mlの生理食塩水にFSHを**30AU**溶かして皮下に投与

<1回投与法>

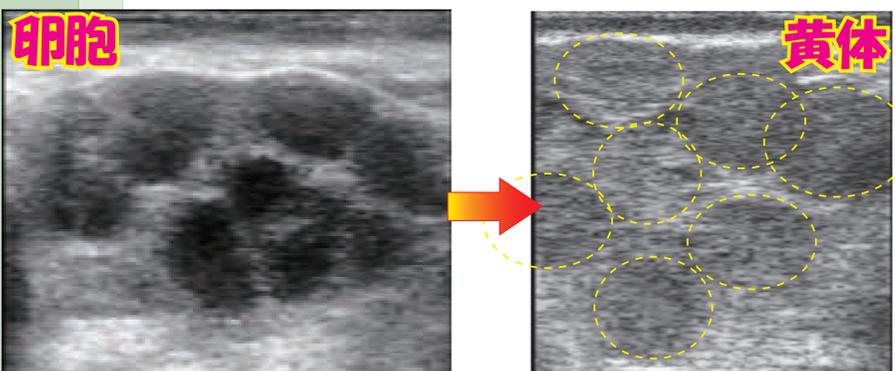


結果

卵巣所見

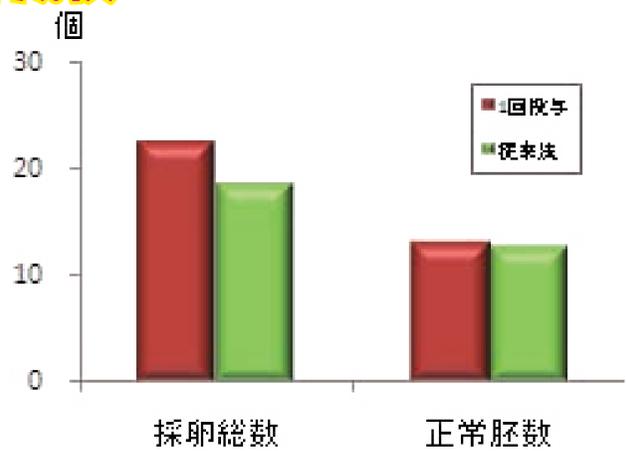


1回投与は従来法と同様に多数の卵胞が発育!!

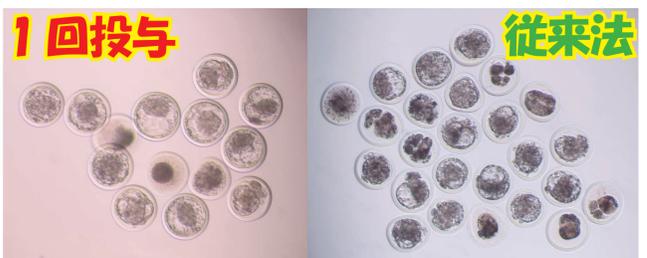


1回投与の超音波画像診断装置の観察像
卵巣内に多数の黄体を確認

採卵成績



従来法と同等の正常胚数



採取した受精卵の発育は品質にも差は認められない

結論

黒毛和種牛では、FSHの1回投与による省力的な過剰排卵処理が可能